

2 主な整備箇所(地域版)

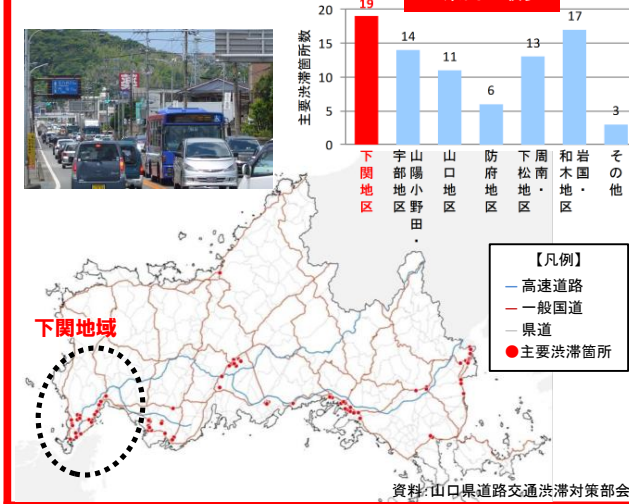
6 下関地域の現状と課題

- 水産業をはじめとした産業を支える迅速かつ円滑な物流の実現
- 広域交通拠点(IC等)から観光地へのアクセス強化による観光客の利便性向上
- 山陰地域、北九州地域や地域内の各拠点との交流・連携強化
- 市街地の渋滞対策
- 県内最多の交通事故発生件数
- 災害時等にも機能する信頼性の高い道路網整備
- 道路施設(橋梁・トンネル等)の老朽化対策

多数の主要渋滞箇所

主要渋滞箇所数が19箇所と県内最多であり、主要渋滞箇所における損失時間では、上位10箇所のうち7箇所が存在しています。

下関港や周辺工場からICへのアクセス経路に主要渋滞箇所が集中し、円滑な物流に支障をきたしています。



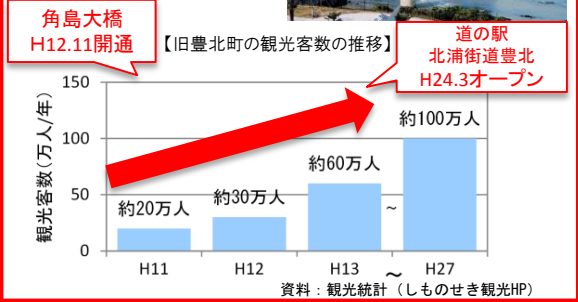
水産業の活性化

下関地域では、取扱量が全国一の「ふく」をはじめ、あんこう、いかなどの地域の特徴を活かした水産物のブランド化による水産業の活性化が図られています。九州地域はもとより、全国各地へさらなる市場の拡大を図るため、円滑かつ迅速な物流の確保が必要です。



一度は行ってみたい橋(角島大橋)

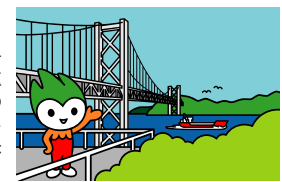
離島架橋として整備した角島大橋は、北長門海岸国定公園内の自然と一体となった美しい景観から、テレビCMに採用されるなど、県を代表する観光スポットとなっています。



隣県との広域連携

関門海峡という共通の財産を持つ下関市と北九州市は、古くから密接な関係を持ちながら一体的な都市圏・経済圏を形成してきました。連携中枢都市である両市の連携が進めば、関門地域の経済成長、圏域外からの人の流入促進等により、関門地域の活力向上が期待されます。

また、九州・山口において、明治日本の産業革命遺産が世界遺産に登録されました。世界遺産を活かした広域観光ルートの形成等により、関門地域により一層観光客が訪れることも期待されます。

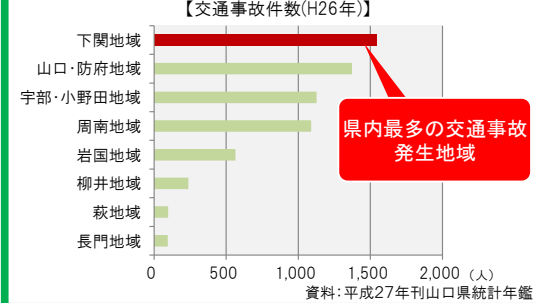


地域内の交流・連携



県内共通 多発する交通事故

下関地域では年間1,500件を超える事故が発生しており、歩行者や自転車利用者を交通事故から守る取組が求められています。



県内共通 道路施設の老朽化

道路施設の老朽化は、利用者の安全性の確保に支障となるだけでなく、ネットワークの寸断等により社会経済活動の停滞をもたらす恐れがあります。



県内共通 災害時等に不安な道路網

下関市長府～壇之浦地区は、国際航路(関内航路)に面し、臨海部に多数の工場、事業所、住宅等が立地していますが、近年、台風の影響による高潮・越波等により大きな被害が頻発しています。当地域における主要幹線道路の国道9号も越波により度々通行規制を余儀なくされています。

県内共通 橋梁の耐震補強

大規模地震時に緊急輸送道路の橋梁や離島架橋、跨線橋、跨道橋が倒壊や落橋すると、救急・救援活動や緊急物資の輸送などに重大な支障が生じます。

本州の最西端で、アジア大陸までの海上輸送距離が最短

海峡ゆめタワー(海峡メッセ下関)



済生会下関総合病院

下関市立市民病院
下関医療センター

下関市役所



関門医療センター

下関市立美術館
長府庭園

小野田港



厚狭

道の駅 きくがわ

宇部港



東行庵

道の駅 豊北

長府庭園



2 主な整備箇所(地域版)

6 下関地域のみちづくり

整備が求められる主な路線

I 産業・地域を『支える』

- 物流等の迅速化・円滑化
- 観光客の利便性の向上
- 交流・連携の強化
- バイパス整備や交差点改良等による渋滞対策の推進

6-a	山陰道
6-b	地域高規格道路下関北九州道路
6-c	地域高規格道路下関西道路
6-d	国道2号(才川～山の谷)
6-e	都計道幡生綾羅木線

等

II 人々のいのちを『守る』

- 生活道路等における交通安全対策の推進
- すべてのひとが安心して移動できる歩行者空間の確保

6-f	国道191号
6-g	国道435号

等

III 災害に『備える』

- 防災・減災対策の推進
- 橋梁の耐震補強

6-h	国道435号
6-i	国道491号

等

IV 未来に『つなぐ』

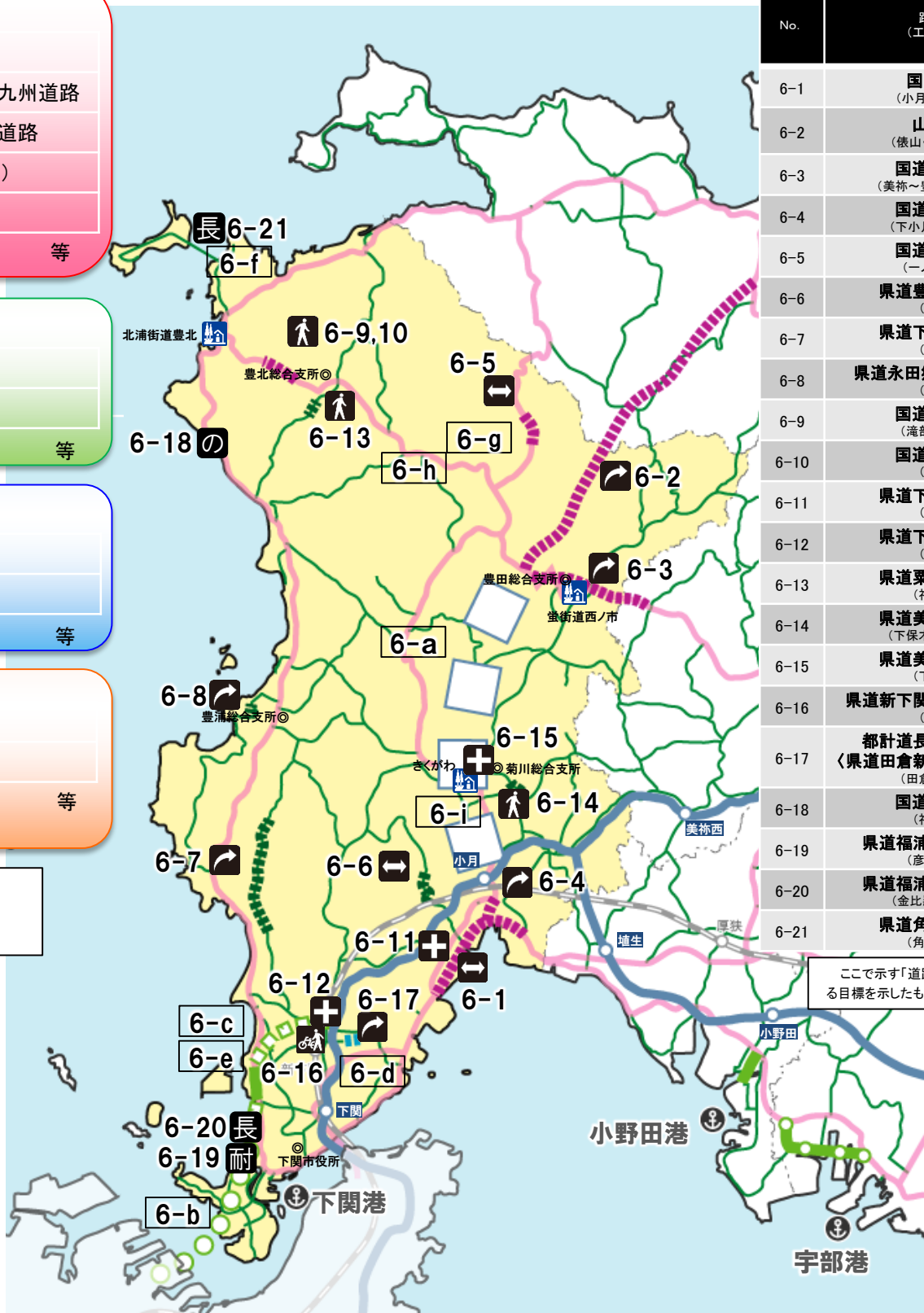
- 老朽化した道路施設の計画的な修繕・更新等
- 日常的な維持管理の充実・効率化
- 異常気象時等の対応

県道下関長門線
県道武久棕野線

等

- ↶ バイパス
- ↷ 現道拡幅
- 🚶 自歩道整備
- 🚶 歩道整備
- ⊕ 交差点改良
- 🚋 のり面对策
- 🛡️ 耐震化
- 🕒 長寿命化
- 📶 SIC スマートインターチェンジ

- 🚉 道の駅
- 🏢 市役所等



主な整備中箇所

No.	路線名 (工区名等)	内容	道路整備 目標	4つの方針			
				支える	守る	備える	つなぐ
6-1	国道2号 (小月バイパス)	現道拡幅	完成 (H28)	●	●	●	●
6-2	山陰道 (俵山・豊田道路)	バイパス	事業継続	●	●	●	●
6-3	国道435号 (美祢～豊田バイパス)	バイパス	完成	●	●	●	●
6-4	国道491号 (下小月バイパス)	バイパス	事業継続	●	●	●	●
6-5	国道491号 (一ノ俣拡幅)	現道拡幅	部分完成	●	●	●	●
6-6	県道豊浦清末線 (阿内)	現道拡幅	部分完成	●	●	●	●
6-7	県道下関川棚線 (吉見)	バイパス	事業継続	●	●	●	●
6-8	県道永田郷室津川棚線 (川棚)	バイパス	完成	●	●	●	●
6-9	国道435号 (滝部～神田)	歩道整備	完成 (H28)	●	●	●	●
6-10	国道435号 (神田)	歩道整備	部分完成	●	●	●	●
6-11	県道下関美祢線 (王司)	交差点改良	完成	●	●	●	●
6-12	県道下関長門線 (石原)	交差点改良	完成	●	●	●	●
6-13	県道粟野二見線 (神田口)	歩道整備	完成	●	●	●	●
6-14	県道美祢菊川線 (下保木～上保木)	歩道整備	部分完成	●	●	●	●
6-15	県道美祢菊川線 (下岡枝)	交差点改良	完成	●	●	●	●
6-16	県道新下関停車場神田線 (秋根)	自歩道整備	完成	●	●	●	●
6-17	都計道長府綾羅木線 (田倉～勝谷)	バイパス	事業継続	●	●	●	●
6-18	国道191号 (神田上)	のり面对策	事業継続	●	●	●	●
6-19	県道福浦港金比羅線 (彦島大橋)	耐震化	完成	●	●	●	●
6-20	県道福浦港金比羅線 (金比羅トンネル)	長寿命化	事業継続	●	●	●	●
6-21	県道角島神田線 (角島大橋)	長寿命化	完成	●	●	●	●

ここで示す「道路整備目標」は、予算の確保、用地取得等が予定通りに進捗した場合の現時点における目標を示したものです。

2 主な整備箇所(地域版)

6 下関地域の主な整備中箇所

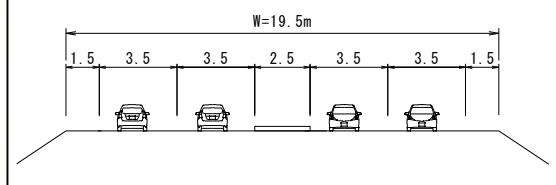
6-1 国道2号(小月バイパス)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	現道拡幅
● 延長	L=5.8km
● 幅員	W=19.5m
● 着手年度	平成20年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 下関市東部地域における国道2号及び国道491号の渋滞を緩和します。
- ◆ 下関市街地から中国自動車道小月ICへのアクセス性を向上します。
- ◆ 小月地区から関門医療センターへのアクセス性を向上します。



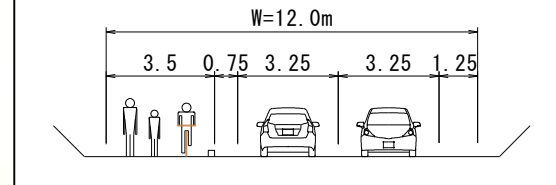
6-3 国道435号(美祢～豊田バイパス)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=5.4km
● 幅員	W=12.0m
● 着手年度	平成6年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 山陰道へのアクセス性を向上します。
- ◆ 北浦地域を周遊する広域観光ルートを整備し、観光振興を図ります。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。



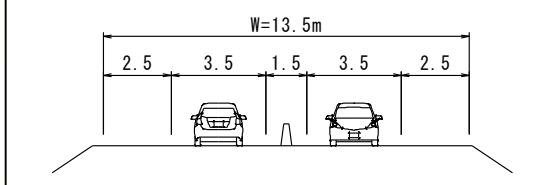
6-2 山陰道(俵山・豊田道路)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=13.9km
● 幅員	W=12.0~13.5m
● 着手年度	平成28年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 下関市への搬送ルート強化し、長門市の主要産業である水産業及び水産加工業の企業活動を支援します。
- ◆ 下関方面の3次救急医療機関へのアクセス性を向上します。
- ◆ 高速ネットワークを整備し、九州から山口県北部への観光交流人口拡大、広域連携強化を図ります。



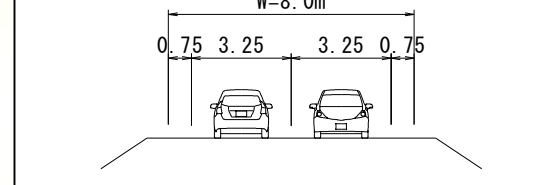
6-4 国道491号(下小月バイパス)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=1.7km
● 幅員	W=8.0m
● 着手年度	平成25年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 下関市東部地域における渋滞を緩和します。
- ◆ 中国自動車道小月ICへのアクセス性を向上します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。



2 主な整備箇所(地域版)

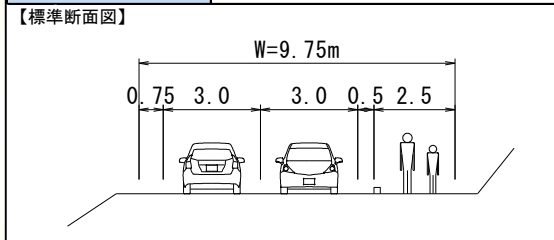
6 下関地域の主な整備中箇所

6-5 国道491号(一ノ俣拡幅)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	現道拡幅
● 延長	L=1.4km
● 幅員	W=9.75m
● 着手年度	平成19年度



目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭く車両のすれ違いが困難な箇所を解消します。
- ◆ 一ノ俣温泉へのアクセス性を向上します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。

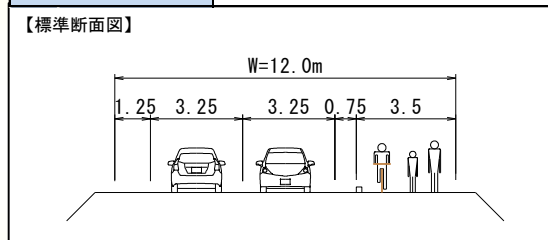


6-7 県道下関川棚線(吉見)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=4.8km
● 幅員	W=12.0m
● 着手年度	平成13年度



目的(効果)

- ◆ 急なカーブで見通しの悪い箇所を解消します。
- ◆ 川棚温泉へのアクセス性を向上します。
- ◆ 旧豊浦町から下関市街地へのアクセス性を向上します。

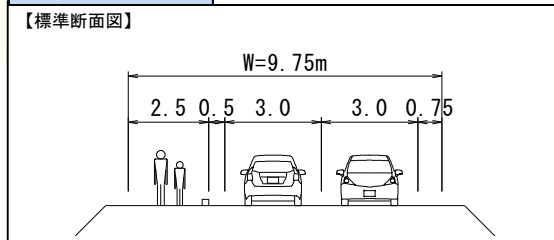


6-6 県道豊浦清末線(阿内)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	現道拡幅
● 延長	L=1.3km
● 幅員	W=9.75m
● 着手年度	平成27年度



目的(効果)

- ◆ 大型車のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 国道2号へのアクセス性を向上します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安全を確保します。

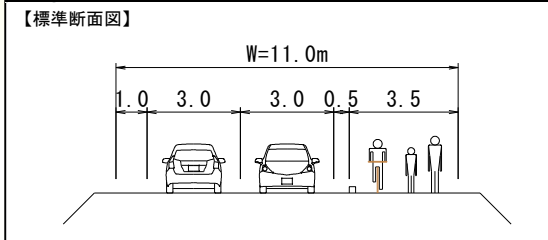


6-8 県道永田郷室津川棚線(川棚)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=0.6km
● 幅員	W=11.0m
● 着手年度	平成15年度



目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭く車両のすれ違いが困難な箇所を解消します。
- ◆ 歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。



2 主な整備箇所(地域版)

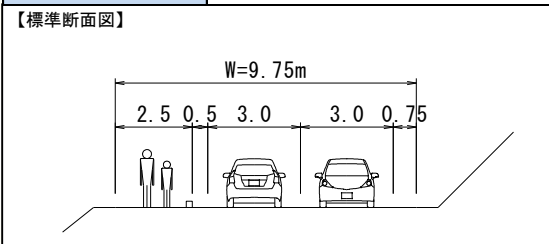
6 下関地域の主な整備中箇所

6-9 国道435号(滝部～神田)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	歩道整備
● 延長	L=2.3km
● 幅員	W=9.75m
● 着手年度	平成16年度



目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安全を確保します。

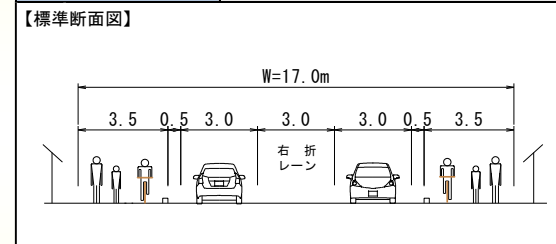


6-11 県道下関美祢線(王司)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	交差点改良
● 延長	L=0.2km
● 幅員	W=17.0m
● 着手年度	平成25年度



目的(効果)

- ◆ 高機能交差点における渋滞を緩和します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。

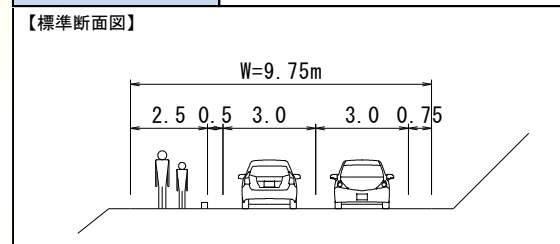


6-10 国道435号(神田)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	歩道整備
● 延長	L=0.7km
● 幅員	W=9.75m
● 着手年度	平成28年度



目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安全を確保します。

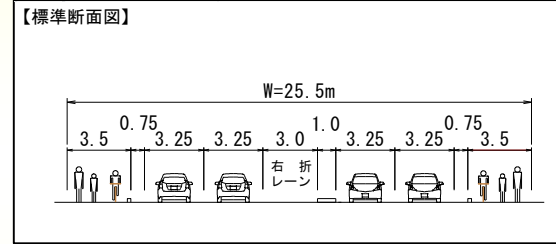


6-12 県道下関長門線(石原)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	交差点改良
● 延長	L=0.5km
● 幅員	W=25.5m
● 着手年度	平成20年度



目的(効果)

- ◆ 秋根北町交差点における渋滞を緩和します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。



2 主な整備箇所(地域版)

6 下関地域の主な整備中箇所

6-13 39 県道栗野二見線(神田口)

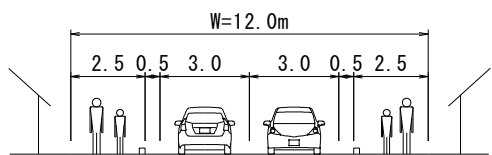
支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	歩道整備
● 延長	L=1.3km
● 幅員	W=12.0m
● 着手年度	平成16年度



【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安全を確保します。



6-15 223 県道美祢菊川線(下岡枝)

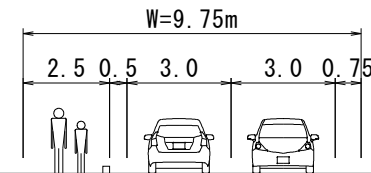
支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	交差点改良
● 延長	L=0.2km
● 幅員	W=9.75m
● 着手年度	平成16年度



【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 上岡枝交差点における事故の発生を防ぎます。
- ◆ 歩行者の通行の安全を確保します。



6-14 223 県道美祢菊川線(下保木～上保木)

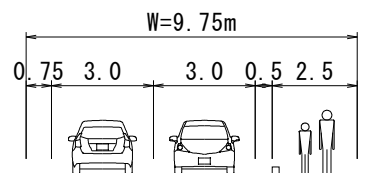
支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	歩道整備
● 延長	L=1.4km
● 幅員	W=9.75m
● 着手年度	平成28年度



【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安全を確保します。
- ◆ 線形を改良し、見通しの悪い箇所を解消します。

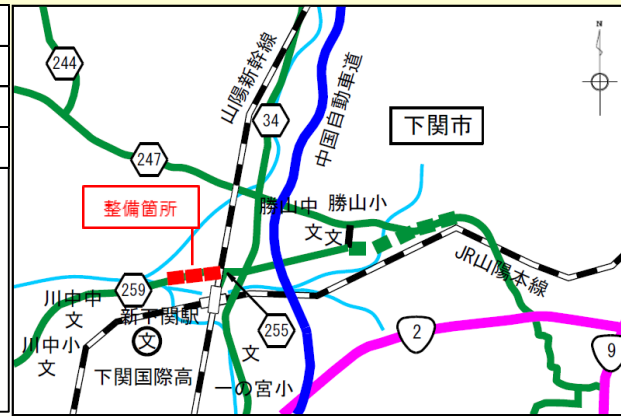


6-16 259 県道新下関停車場稗田線(秋根)

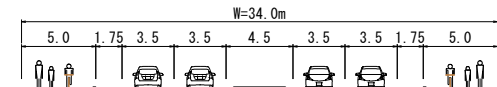
支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	自歩道整備(バリアフリー)
● 延長	L=0.6km
● 幅員	W=34.0m
● 着手年度	平成21年度



【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 段差の解消、急勾配の改善、無電柱化等を実施し、安全に安心して移動できる歩行空間を形成します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。



2 主な整備箇所(地域版)

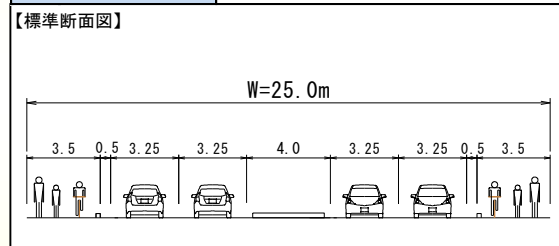
6 下関地域の主な整備中箇所

6-17 都計道長府綾羅木線(田倉～勝谷) 〈 県道田倉新下関停車場線〉

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内 容	バイパス
● 延 長	L=1.2km
● 幅 員	W=25.0m
● 着手年度	平成27年度



目的(効果)

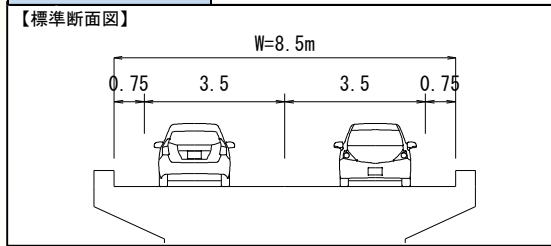
- ◆ JR新下関駅と長府地区を直結し、秋根北町交差点に集中する交通を分散し、円滑な交通を確保します。
- ◆ 歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。

6-19 県道福浦港金比羅線(彦島大橋)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内 容	耐震化
● 延 長	L=0.76km
● 幅 員	W=8.5m
● 着手年度	平成20年度



目的(効果)

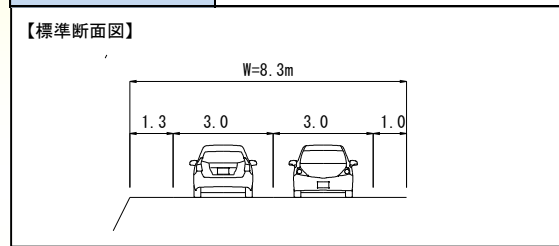
- ◆ 大地震時に落橋に至るような致命的な被害を防止するだけでなく、地震後、橋梁としての機能の回復が速やかにい行い得る性能を確保します。
- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。

6-18 国道191号(神田上)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内 容	のり面対策
● 延 長	L=0.8km
● 幅 員	W=8.3m
● 着手年度	平成17年度



目的(効果)

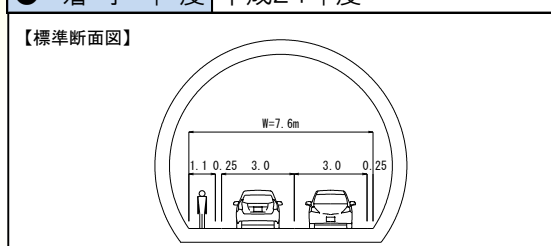
- ◆ 道路利用者の安全な通行や災害時の円滑な緊急輸送を確保します。

6-20 県道福浦港金比羅線(金比羅トンネル)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内 容	長寿命化
● 延 長	L=0.3km
● 幅 員	W=7.6m
● 着手年度	平成24年度



目的(効果)

- ◆ トンネルの定期点検結果を踏まえ、健全度が低下する前に補修や補強等の適切な措置を実施し、施設の長寿命化を図ります。

2 主な整備箇所(地域版)

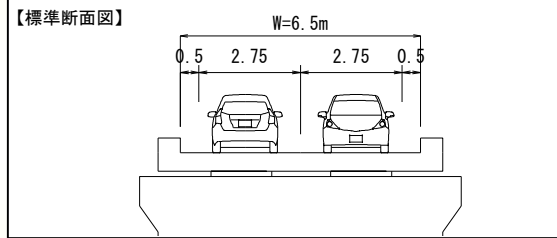
6 下関地域の主な整備中箇所

6-21 276 県道角島神田線(角島大橋)

支える	守る	備える	つなぐ
			●

概要

● 内容	長寿命化
● 延長	L=1.8km
● 幅員	W=6.5m
● 着手年度	平成25年度



目的(効果)

- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。



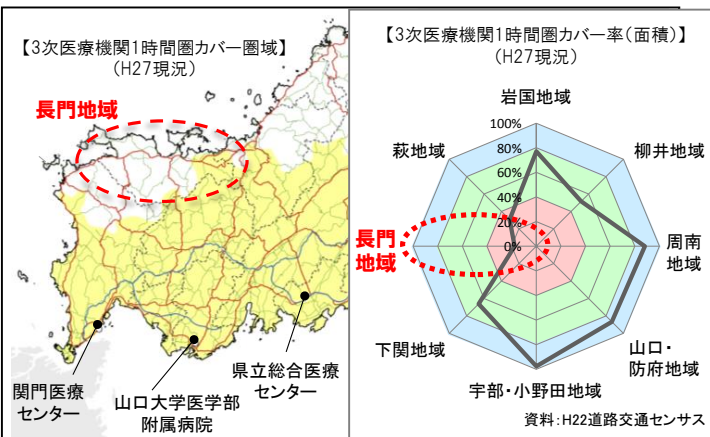
2 主な整備箇所(地域版)

7 長門地域の現状と課題

- 水産業、水産加工業等を支える迅速かつ円滑な**物流の実現**
- 観光地や広域交通拠点(IC等)とのアクセス強化による**観光客の利便性向上**
- こどもをはじめとした**交通事故**死傷者の削減
- 救急医療施設**への搬送時間の短縮
- 災害**時等にも機能する信頼性の高い道路網整備
- 道路施設(橋梁・トンネル等)の**老朽化対策**

救急医療への不安

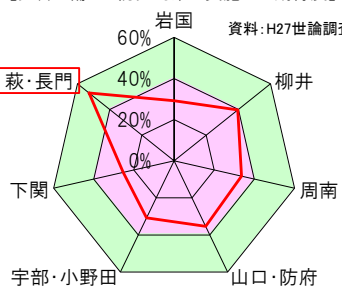
長門地域は、3次救急医療機関1時間圏の空白地帯となっており、住民の皆様からも不安の声をいただいています。



防災対策への期待

県政世論調査によると、萩・長門地域の方からは、「災害に備えた防災対策の実施(代替性の確保、土砂崩れ防止、橋梁の耐震化など)」が必要という回答が多く寄せられています。

【災害に備えた防災対策の実施への期待度】



観光振興

別名「海上のアルプス」と呼ばれる青海島は、長門市有数の観光地で、日本海の荒波に侵食された断崖絶壁や数多くの洞門、石柱、岩礁など雄大にそびえ立つ絶景で、北長門海岸国定公園の代表的景観となっています。



長門市仙崎・青海島間は、本県初の海上架橋である「青海大橋」(全長260m)があり、車でのアクセスが可能です。



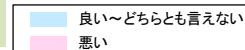
また、湯本、俵山をはじめ5つの温泉郷があり、県内外から多くの観光客や湯治客が訪れています。

【俵山温泉】
日本一アルカリ含有量の多い温泉

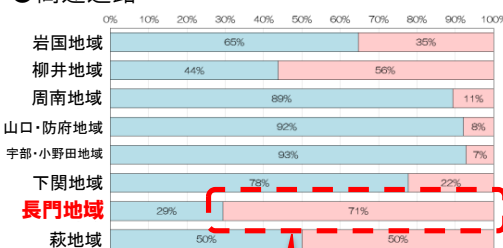
広域交通拠点とのアクセス性

長門地域の事業所からは、高速道路や空港など、広域交通拠点とのアクセスが悪いという声を多数いただいています。

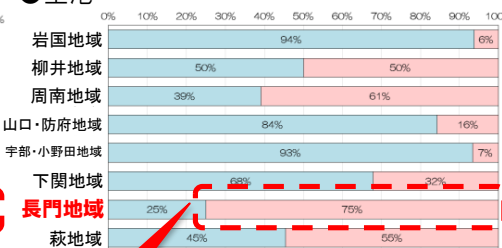
山口県内における主な営業活動範囲、来場者のアクセスなどについての条件をどう評価されますか？



● 高速道路



● 空港



「悪い」と回答した企業の割合は、長門地域が最も多い

資料: H25企業アンケート

県内共通 道路施設の老朽化

道路施設の老朽化は、利用者の安全性の確保に支障となるだけでなく、ネットワークの寸断等により社会経済活動の停滞をもたらす恐れがあります。



県内共通 橋梁の耐震補強

大規模地震時に緊急輸送道路の橋梁や離島架橋、跨線橋、跨道橋が倒壊や落橋すると、救急・救援活動や緊急物資の輸送などに重大な支障が生じます。



水産業の活性化

仙崎漁港は下関漁港、萩漁港に次ぐ県内第三位の水揚げ高を誇る大規模な漁港となっています。

イカ・アジなどの近海物の魚介類やウニ・アワビなどを主に取り扱い、関西・九州方面に出荷されています。特にケンサキイカについては近年『仙崎イカ』のブランド名が名付けられ、流通価値が高まりつつあります。



また、水揚げされる漁獲物を原材料とする水産加工業が盛んで、特に近海の白身魚(エソなど)を用いたかまぼこは「仙崎かまぼこ」として広く名声を博しています。



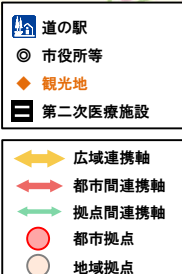
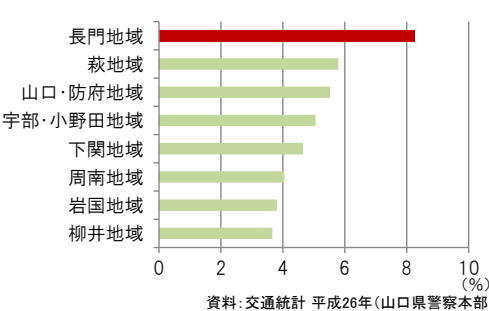
鮮度の高い魚を出荷！！

販路拡大！！

県内共通 子どもの死傷者率が高い

交通事故死者数のうち、子どもの占める割合が最も高い地域となっています。通学路の整備など、子どもを交通事故から守る取組が必要です。

【交通事故死傷者数 全体に占める子どもの割合】



2 主な整備箇所(地域版)

7 長門地域のみちづくり

整備が求められる主な路線

I 産業・地域を『支える』

- 物流等の迅速化・円滑化
- 観光客の利便性の向上
- 交流・連携の強化

7-a	山陰道
7-b	県道長門油谷線

等

II 人々のいのちを『守る』

- 生活道路等における交通安全対策の推進
- 救急車両の迅速かつ円滑な通行の確保
- 救急医療施設への搬送時間の短縮

7-c	県道長門油谷線
7-d	県道長門三隅線

等

III 災害に『備える』

- 広域道路ネットワークの構築や安心・安全な生活道路の整備
- 防災・減災対策の推進
- 橋梁の耐震補強

7-e	県道青海島線
7-f	県道下関長門線

等

IV 未来に『つなぐ』

- 老朽化した道路施設の計画的な修繕・更新等
- 日常的な維持管理の充実・効率化
- 異常気象時等の対応

国道191号
国道316号

等

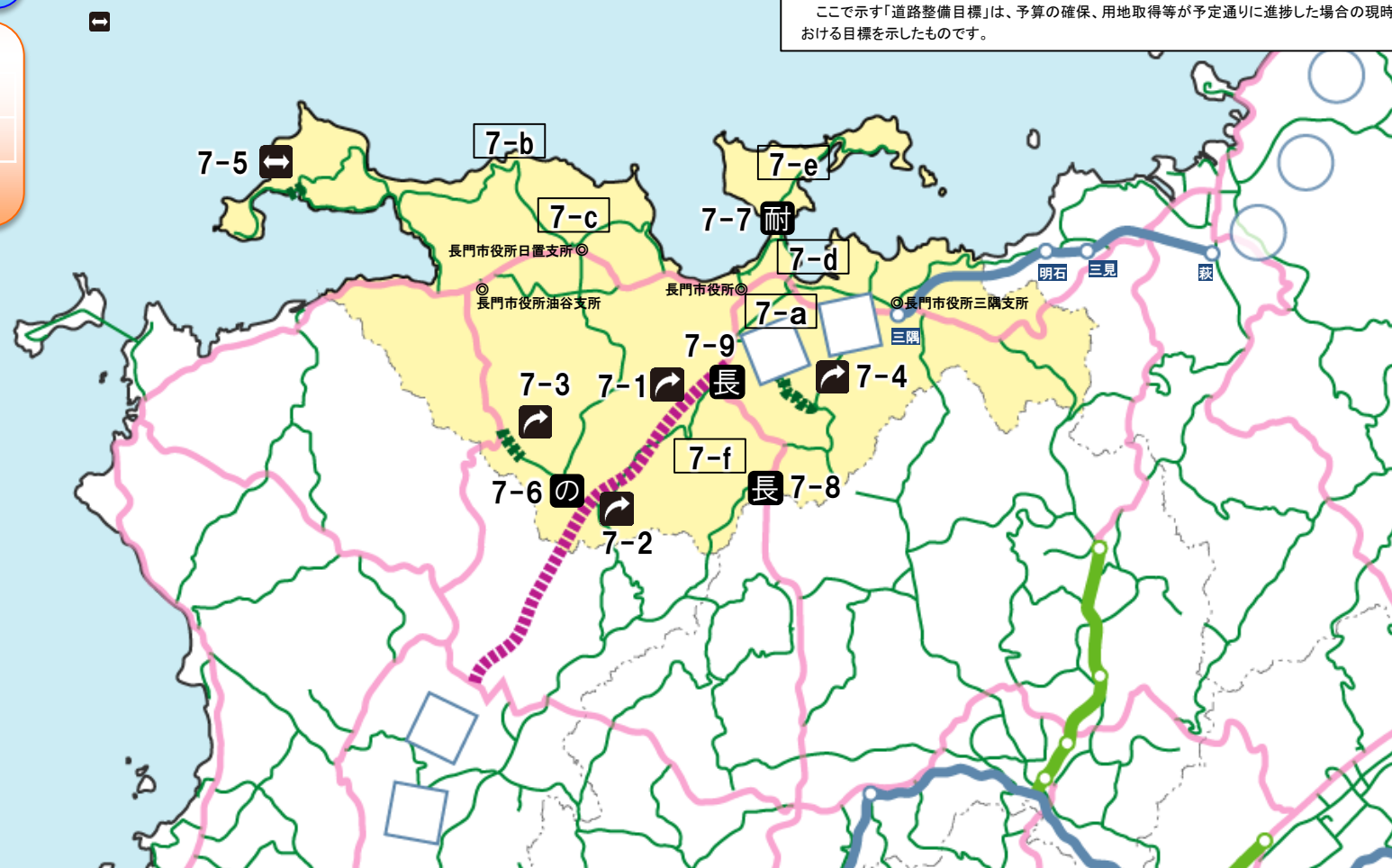
- ↷ バイパス
- ⇄ 現道拡幅
- 🚶 自歩道整備
- 🚶 歩道整備
- ⊕ 交差点改良
- 📏 のり面対策
- 🏠 耐震化
- 🕒 長寿命化
- 📶 SIC スマートインターチェンジ

- 🚉 道の駅
- 📍 市役所等

主な整備中箇所

No.	路線名 (工区名等)	内容	道路整備 目標	4つの方針			
				支える	守る	備える	つなぐ
7-1	山陰道 (長門・俵山道路)	バイパス	完成 (H31)	●	●	●	
7-2	山陰道 (俵山・豊田道路)	バイパス	事業継続	●	●	●	
7-3	県道美祢油谷線 (砂利ヶ峠)	バイパス	完成	●		●	
7-4	県道長門秋芳線 (大河内)	バイパス	事業継続	●		●	
7-5	県道油谷港線 (久津)	現道拡幅	事業継続	●	●	●	
7-6	県道下関長門線 (俵山)	のり面対策	事業継続			●	
7-7	県道青海島線 (青海大橋)	耐震化	事業継続			●	
7-8	国道316号 (大ヶ峠トンネル)	長寿命化	完成				●
7-9	県道下関長門線 (湯本大橋)	長寿命化	事業継続				●

ここで示す「道路整備目標」は、予算の確保、用地取得等が予定通りに進捗した場合の現時点における目標を示したものです。



2 主な整備箇所(地域版)

7 長門地域の主な整備中箇所

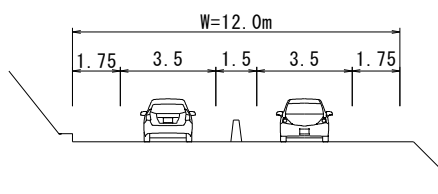
7-1 491 山陰道(長門・俵山道路)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=5.5km
● 幅員	W=12.0m
● 着手年度	平成20年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 並行する県道下関長門線の急カーブ区間、事前通行規制区間を回避し、安全性・確実性が向上します。
- ◆ 交通の高速化が図られ、利便性向上による都市間連携を強化します。
- ◆ 災害時における代替路が確保され、信頼性の高いネットワークが形成されます。



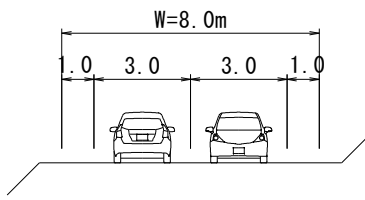
7-3 38 県道美祢油谷線(砂利ヶ峠)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=2.0km
● 幅員	W=8.0m
● 着手年度	平成24年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 山陰道へのアクセス性を向上します。
- ◆ 北浦地域を周遊する観光ルートを整備し、観光振興を図ります。



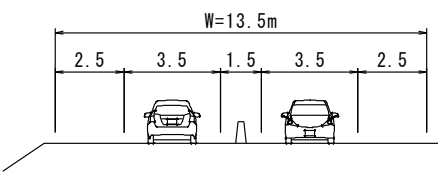
7-2 491 山陰道(俵山・豊田道路)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=5.5km
● 幅員	W=12.0m~13.5m
● 着手年度	平成28年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 下関市への搬送ルートが強化され、長門市の主要産業である水産業及び水産加工業の企業活動を支援します。
- ◆ 下関方面の第3次救急医療機関へのアクセス性を向上します。
- ◆ 高速ネットワークを整備し、九州から山口県北部への観光交流人口拡大、広域連携強化を図ります。



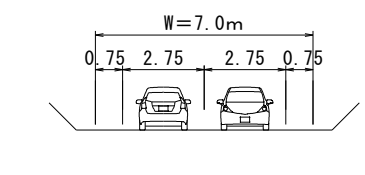
7-4 280 県道長門秋芳線(大河内)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=5.0km
● 幅員	W=7.0m
● 着手年度	平成6年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 長門市街地へのアクセス性を向上します。



2 主な整備箇所(地域版)

7 長門地域の主な整備中箇所

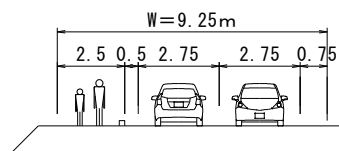
7-5 357 県道油谷港線(久津)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	現道拡幅
● 延長	L=0.7km
● 幅員	W=9.25m
● 着手年度	平成26年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭く車両のすれ違いが困難な箇所を解消します。
- ◆ 国道191号へのアクセス性を向上します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安全を確保します。



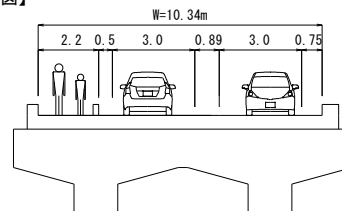
7-7 283 県道青海島線(青海大橋)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	耐震化
● 延長	L=0.3km
● 幅員	W=10.34m
● 着手年度	平成27年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 大地震時に落橋に至るような致命的な被害を防止するだけでなく、地震後、橋梁としての機能の回復が速やかに行い得る性能を確保します。
- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。



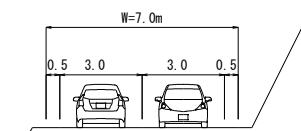
7-6 34 県道下関長門線(俵山)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

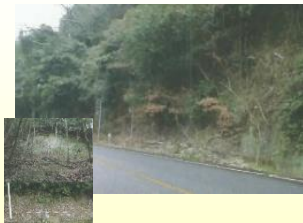
● 内容	のり面対策
● 延長	L=0.2km
● 幅員	W=7.0m
● 着手年度	平成25年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 道路利用者の安全な通行や災害時の円滑な緊急輸送を確保します。



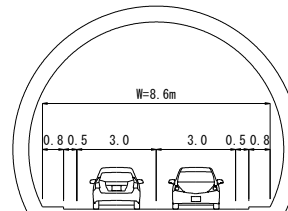
7-8 316 国道316号(大ヶ峠トンネル)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	長寿命化
● 延長	L=1.1km
● 幅員	W=8.6m
● 着手年度	平成26年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ トンネルの定期点検結果を踏まえ、健全度が低下する前に補修や補強等の適切な措置を実施し、施設の長寿命化を図ります。



2 主な整備箇所(地域版)

7 長門地域の主な整備中箇所

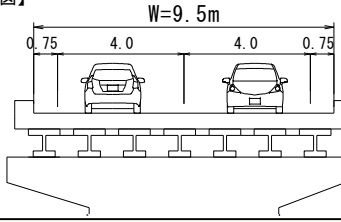
7-9 34 県道下関長門線(湯本大橋)

支える	守る	備える	つなぐ
			●

概要

● 内容	長寿命化
● 延長	L=0.1km
● 幅員	W=9.5m
● 着手年度	平成25年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。



2 主な整備箇所(地域版)

8 萩地域の現状と課題

- 観光地や広域交通拠点(IC等)へのアクセス強化による**観光客の利便性**向上
- 道の駅を核とした地域の拠点などとの**交流・連携**強化
- 高齢者をはじめとした**交通事故**死傷者の削減
- 救急医療施設**への搬送時間の短縮
- 災害**時等にも機能する信頼性の高い道路網整備
- 道路施設(橋梁・トンネル等)の**老朽化**対策

県内共通 近年の災害発生状況

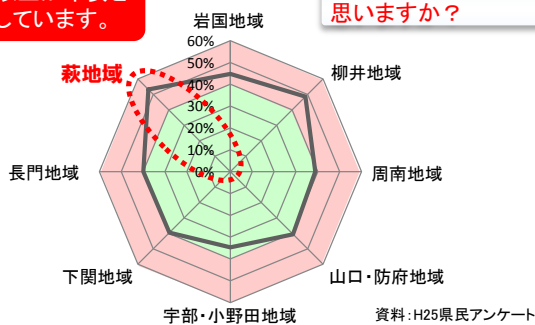
平成25年7月28日、県北部や中部の一部で記録的な豪雨となり、萩市(須佐)では日降水量351.0mmを観測し、7月の月降水量平年値を超えました。河川の氾濫や土石流が発生したほか、国道191号など多くの道路が通行止めとなるなど、大きな被害が発生しました。

【国道191号(萩市大字須佐)】



半数以上が不安と回答しています。

【不安と答えた割合】



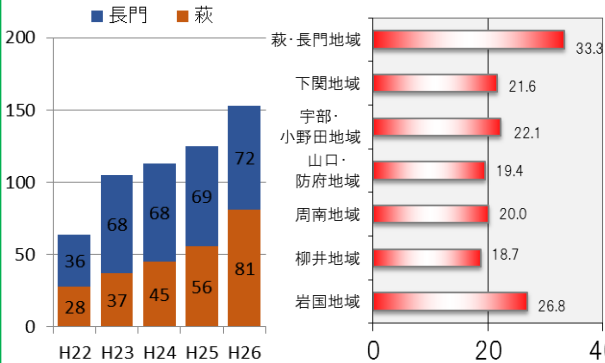
大雨や地震が起きた際において、安心できる道路網であると思いませんか？

救急医療施設への搬送時間

山陰地域からの3次救急医療機関への搬送件数は年々増加しており、高度な医療施設への移動時間短縮を求める声が高まっています。

【3次救急医療機関への搬送件数】

【高度な医療施設への移動時間短縮を求める声】



資料: 消防署ヒアリング結果

資料: H27県政世論調査

道の駅

平成5年に創設された道の駅制度は、「中国地域づくり交流会」(H2)で山口県の参加者が「道路に駅があってもよいのではないか」と提案したことが発端となったもので、本県はいわば道の駅発祥の地です。(道の駅「阿武町」は、日本で最初にできた道の駅のひとつ) また、萩市は、全国モデル道の駅の萩一まとをはじめ7箇所の道の駅が設置されており、全国有数の設置数となっています。

全国モデル道の駅

道の駅「萩一まと」は、全国の道の駅の中から、地域活性化や産業振興の成功例として特に優れた「全国モデル道の駅」に選定されました。



道の駅 萩一まと

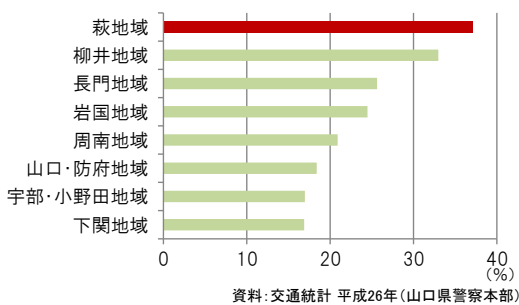
道の駅 萩さんさん三見



県内共通 死傷者の約4割が高齢者

萩地域では、交通事故死傷者数のうち高齢者の占める割合は約4割と、県内の他の地域に比べて高くなっています。高齢者も安心して通行できる道路空間の創出が必要です。

【交通事故死傷者数 高齢者の占める割合】



資料: 交通統計 平成26年(山口県警察本部)

県内共通 道路施設の老朽化

道路施設の老朽化は、利用者の安全性の確保に支障となるだけでなく、ネットワークの寸断等により社会経済活動の停滞をもたらす恐れがあります。



道の駅 阿武町



道の駅 ゆとりパークたまがわ



田万川温泉「憩いの湯」



萩・石見空港

須佐ホルンフェルス



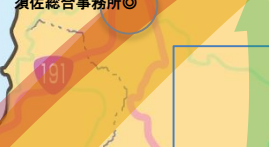
恵美須ヶ鼻造船所跡



大板山たたら製鉄遺跡



須佐総合事務所



道の駅 万川総合事務所



道の駅 うり坊の郷katamata



道の駅 ハビネスふくえ



萩反射炉



県内共通 橋梁の耐震補強

大規模地震時に緊急輸送道路の橋梁や離島架橋、跨線橋、跨道橋が倒壊や落橋すると、救急・救援活動や緊急物資の輸送などに重大な支障が生じます。



観光資源

明治維新

萩地域は、明治維新胎動の地として、吉田松陰をはじめ高杉晋作、伊藤博文など多くの逸材を輩出しており、維新志士ゆかりの場所など、多くの名所があります。

世界遺産

「明治日本の産業革命遺産」は、製鉄、造船、石炭産業などの重工業が西洋の技術を取り入れて、日本がものづくり大国となる基礎をつくった歴史を物語っています。萩地域では、萩反射炉、恵美須ヶ鼻造船所跡、大板山たたら製鉄遺跡、松下村塾、萩城下町の5つの資産で構成されています。



移動時間の短縮を図り、効率的な観光・周遊ルートの設定が可能となるよう、新幹線駅や空港、高速道路ICとの**アクセス性向上**が望まれます。



2 主な整備箇所(地域版)

8 萩地域のみちづくり

整備が求められる主な路線

I 産業・地域を『支える』

- 観光客の利便性の向上
- 交流・連携の強化
- 生活の利便性の向上

8-a	山陰道
8-b	国道490号

等

II 人々のいのちを『守る』

- 生活道路等における交通安全対策の推進
- 救急車両の迅速かつ円滑な通行の確保
- 救急医療施設への搬送時間の短縮

8-c	県道萩篠生線
8-d	県道萩川上線

等

III 災害に『備える』

- 広域道路ネットワークの構築や安心・安全な生活道路の整備
- 防災・減災対策の推進
- 橋梁の耐震補強

8-e	県道益田阿武線
8-f	県道萩秋芳線

等

IV 未来に『つなぐ』

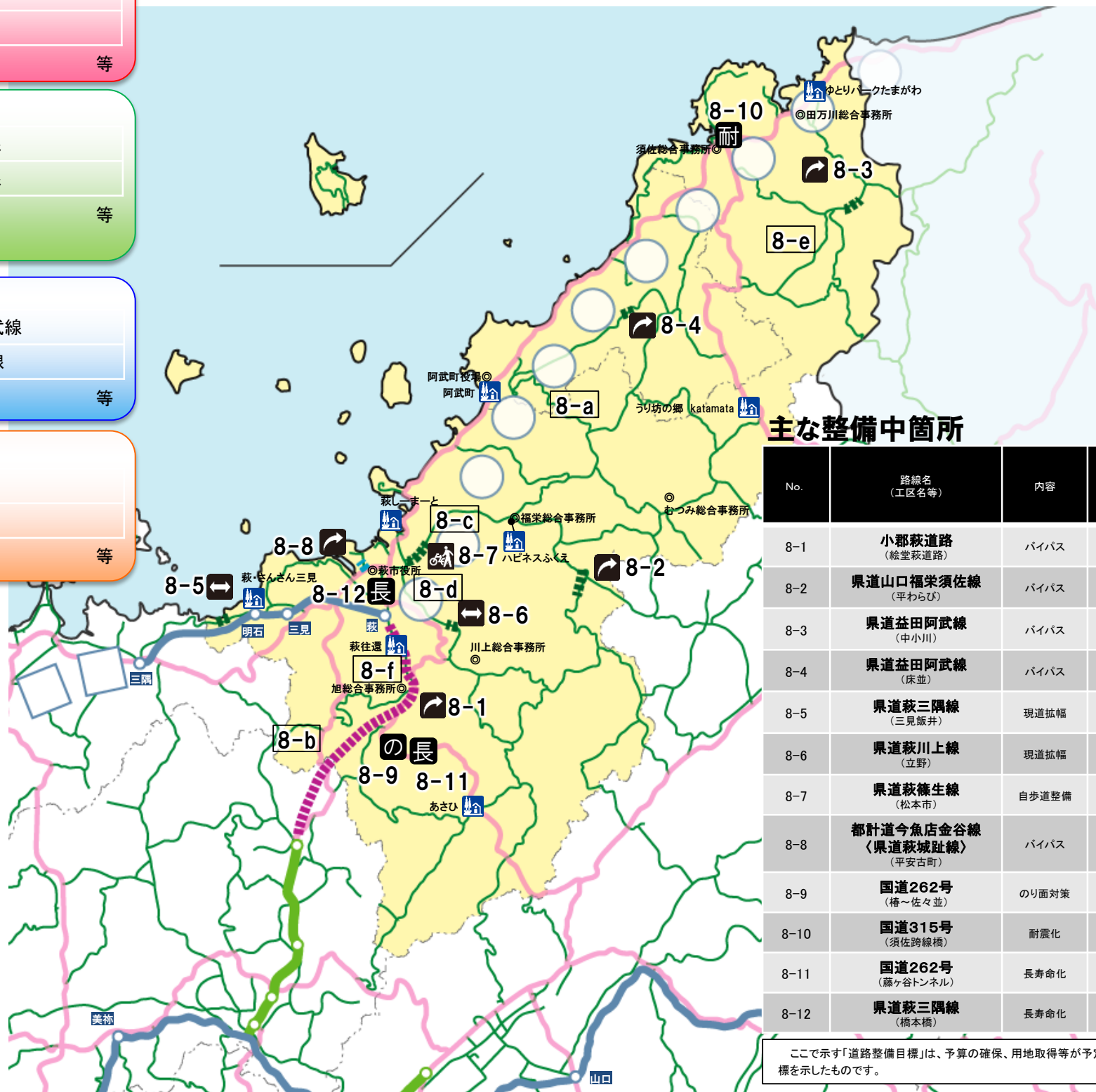
- 老朽化した道路施設の計画的な修繕・更新等
- 日常的な維持管理の充実・効率化
- 異常気象時等の対応

国道262号
県道萩篠生線

等

- バイパス
- 現道拡幅
- 自歩道整備
- 歩道整備
- 交差点改良
- のり面対策
- 耐震化
- 長寿命化
- スマートインターチェンジ

- 道の駅
- 市役所等



主な整備中箇所

No.	路線名 (工区名等)	内容	道路整備 目標	4つの方針			
				支える	守る	備える	つなぐ
8-1	小郡萩道路 (総堂萩道路)	バイパス	事業継続	●	●	●	
8-2	県道山口福栄須佐線 (平わらび)	バイパス	完成	●		●	
8-3	県道益田阿武線 (中小川)	バイパス	完成	●	●	●	
8-4	県道益田阿武線 (床並)	バイパス	完成	●		●	
8-5	県道萩三隅線 (三見飯弁)	現道拡幅	事業継続	●		●	
8-6	県道萩川上線 (立野)	現道拡幅	事業継続	●	●	●	
8-7	県道萩篠生線 (松本市)	自歩道整備	部分完成	●	●	●	
8-8	都計道今魚店金谷線 (県道萩城趾線) (平安古町)	バイパス	完成	●	●	●	
8-9	国道262号 (橋~佐々並)	のり面対策	事業継続			●	
8-10	国道315号 (須佐跨線橋)	耐震化	完成			●	
8-11	国道262号 (藤ヶ谷トンネル)	長寿命化	事業継続				●
8-12	県道萩三隅線 (橋本橋)	長寿命化	完成				●

ここで示す「道路整備目標」は、予算の確保、用地取得等が予定通りに進捗した場合の現時点における目標を示したものです。

2 主な整備箇所(地域版)

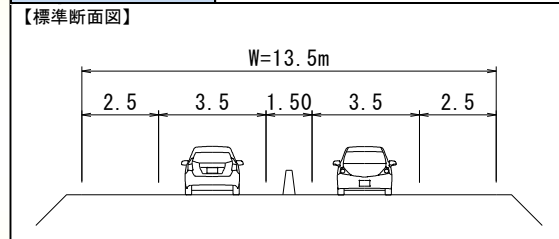
8 萩地域の主な整備中箇所

8-1 小郡萩道路(絵堂萩道路)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=15.0km
● 幅員	W=13.5m
● 着手年度	平成26年度



目的(効果)

- ◆ 空港や新幹線駅等の広域交通拠点へのアクセス性を向上します。
- ◆ 萩・美祢地域における広域観光ルートを整備し、観光振興を図ります。
- ◆ 自動車専用道路を整備し、災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。

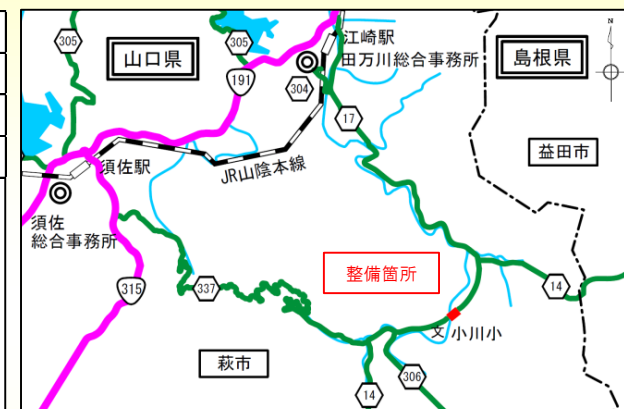
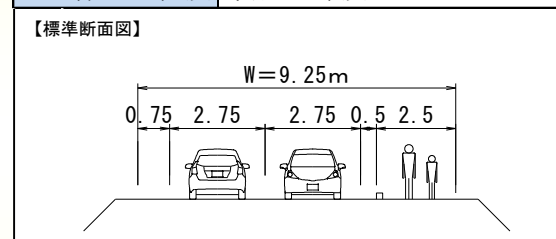


8-3 県道益田阿武線(中小川)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=0.6km
● 幅員	W=9.25m
● 着手年度	平成26年度



目的(効果)

- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安全を確保します。

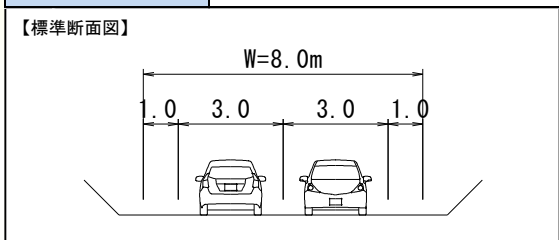


8-2 県道山口福栄須佐線(平わらび)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=1.3km
● 幅員	W=8.0m
● 着手年度	平成25年度



目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 平わらび台へのアクセス性を向上します。

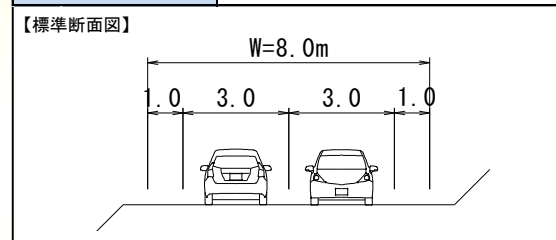


8-4 県道益田阿武線(床並)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	●

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=2.1km
● 幅員	W=8.0m
● 着手年度	平成13年度



目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 阿武町市街地へのアクセス性を向上します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。



2 主な整備箇所(地域版)

8 萩地域の主な整備中箇所

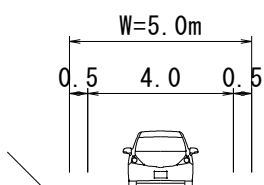
8-5 64 県道萩三隅線(三見飯井)

支える	守る	備える	つなぐ
●		●	

概要

● 内容	現道拡幅
● 延長	L=1.1km
● 幅員	W=5.0m
● 着手年度	平成24年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 山陰道へのアクセス性を向上します。



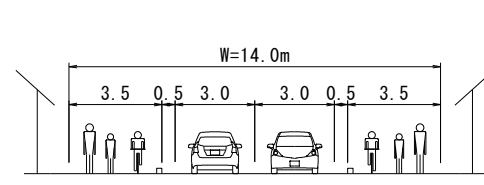
8-7 11 県道萩篠生線(松本市)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	

概要

● 内容	自歩道整備
● 延長	L=0.8km
● 幅員	W=14.0m
● 着手年度	平成21年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。



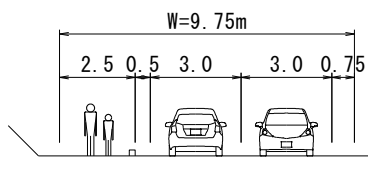
8-6 67 県道萩川上線(立野)

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	

概要

● 内容	現道拡幅
● 延長	L=1.4km
● 幅員	W=9.75m
● 着手年度	平成17年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 萩市街地へのアクセス性を向上します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安全を確保します。



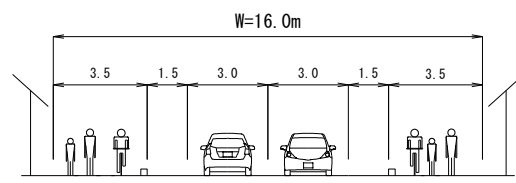
8-8 295 都計道今魚店金谷線(平安古町) 〈 295 県道萩城趾線〉

支える	守る	備える	つなぐ
●	●	●	

概要

● 内容	バイパス
● 延長	L=0.3km
● 幅員	W=16.0m
● 着手年度	平成22年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 萩博物館や萩城下町へのアクセス性を向上し、観光振興を図ります。
- ◆ 歩行者及び自転車利用者の通行の安全を確保します。



2 主な整備箇所(地域版)

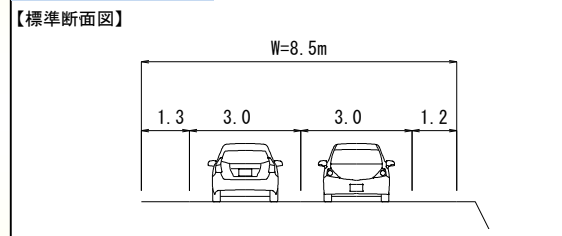
8 萩地域の主な整備中箇所

8-9 国道262号(椿～佐々並)

支える	守る	備える	つなぐ
		●	

概要

● 内容	のり面対策
● 延長	L=2.3km
● 幅員	W=8.5m
● 着手年度	平成24年度



目的(効果)

- ◆ 道路利用者の安全な通行や災害時の円滑な緊急輸送を確保します。

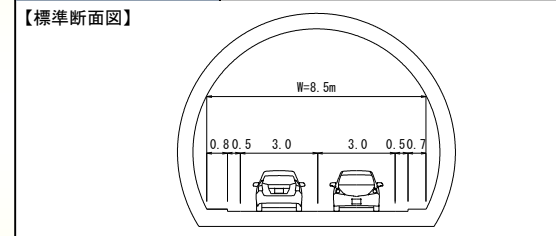


8-11 国道262号(藤ヶ谷トンネル)

支える	守る	備える	つなぐ
			●

概要

● 内容	長寿命化
● 延長	L=0.2km
● 幅員	W=8.5m
● 着手年度	平成27年度



目的(効果)

- ◆ トンネルの定期点検結果を踏まえ、健全度が低下する前に補修や補強等の適切な措置を実施し、施設の長寿命化を図ります。

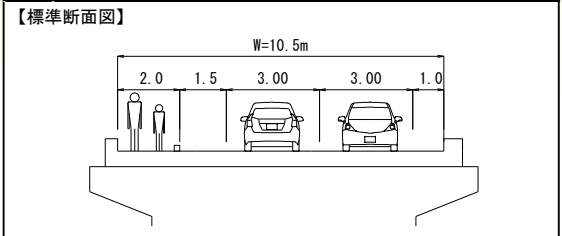


8-10 国道315号(須佐跨線橋)

支える	守る	備える	つなぐ
		●	

概要

● 内容	耐震化
● 延長	L=0.1km
● 幅員	W=10.5m
● 着手年度	平成24年度



目的(効果)

- ◆ 大地震時に落橋に至るような致命的な被害を防止するだけでなく、地震後、橋梁としての機能の回復が速やかに行い得る性能を確保します。
- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。

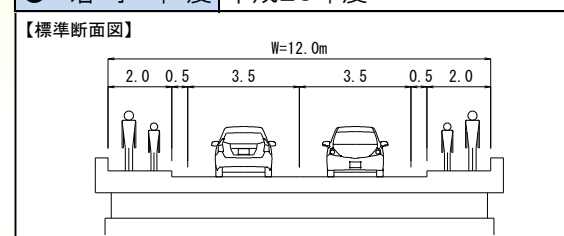


8-12 県道萩三隅線(橋本橋)

支える	守る	備える	つなぐ
			●

概要

● 内容	長寿命化
● 延長	L=0.1km
● 幅員	W=12.0m
● 着手年度	平成25年度



目的(効果)

- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。



山口県土木建築部

(お問い合わせ)

山口県土木建築部道路建設課 〒753-8501 山口県山口市滝町1-1
TEL:083-933-3714 E-mail:a18300@pref.yamaguchi.lg.jp